

一般社団法人 National Clinical Database(NCD)の手術・治療情報データベース事業への参加について

大阪大学 小児成育外科

当科は、一般社団法人 National Clinical Database(NCD)が実施するデータベース事業に参加しています。

本事業は、日本外科学会を基盤とする外科系の学会が共同して、日本全国における外科手術症例の情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんにより良いの医療を提供することを目的としております。一般社団法人 National Clinical Database(以下 NCD) が学会と独立して設置され、日本における殆どの外科手術症例に関する情報が本機関に登録されています。大阪大学医学部附属病院も本登録事業に参加することになりましたので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1) 対象となる方

平成 23 年 1 月 1 日以降、大阪大学医学部附属病院外科系各科（心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺内分泌外科、小児外科）で手術を受けるすべての患者さんが対象となります。

2) 研究機関名

NCD と全国の医療施設が協力して本事業を実施します。

3) 目的

日本全国で実施される外科手術症例に関する情報を NCD に登録し集計・分析することにより、医療の質の向上に役立てることを目的としています。

4) 方法

NCD より承認を受けた医師およびデータマネージャーが NCD のウェブサイトを通じて外科手術症例（病名や術式等の臨床情報）を登録します。

5) 意義

日本全国の医療施設から集められた情報を解析することにより、地域ごとの診療の特徴や医療水準の評価が可能となります。また手術の成績や合併症の危険性などについても明らかにでき、より安全で質の高い医療を提供するための方法の開発や政策などに反映することができます。また、登録された症例をもとに各専門医の資格

認定が行われますので、高度な知識と技術を有する専門医育成に役立ちます。

6) 個人情報の扱い

NCD に登録する際には、患者さんの氏名やカルテ番号等の個人を識別できる情報は登録しませんので、個人情報が外部に漏洩することはありません。

登録する情報は、それ自体で患者さん個人を容易に特定することはできないものですが、患者さんに関わる重要な情報ですので厳重に管理いたします。

当科及び NCD では登録する情報の管理にあたって、情報の取り扱いや安全管理に関する法令や取り決め(「個人情報の保護に関する法律」、「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等)を遵守しています。データの公表にあたっては、NCD が承認した情報のみが集計データとして公表されます。登録するデータがどなたのものであるか特定されることはありません。

7) 参加を拒否する権利

NCD への登録を希望されない方は主治医にお申し出ください。

[一般社団法人 National Clinical Database\(NCD\)ホームページ](http://www.ncd.or.jp/)

(<http://www.ncd.or.jp/>)